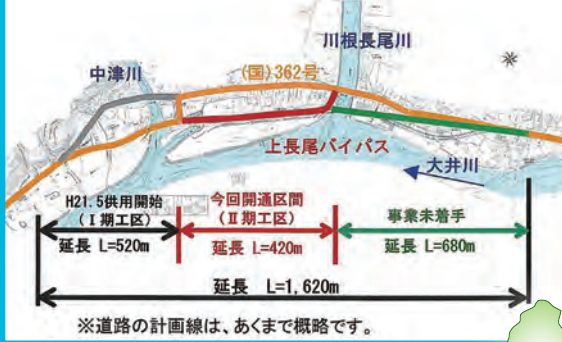




関係者と桜・三ツ星保育園児が手をつないで通り初めパレードを楽しんだ

全体概要図

資料出典：県島田土木事務所



# 上長尾バイパス 開通式

梅高地区と上長尾地区を結ぶ「上長尾バイパス」の第1期・第2期工区の完成を祝い、開通式典が挙行された。通り初めに桜・三ツ星保育園児が花を添えた。

## 地域経済の発展と福祉の向上に寄与

7月10日、上長尾バイパスの第2期工区が完成し、第1期・2期工区の開通式典が挙行されました。新たに供用を開始したのは、新中津川橋から上長尾駐在所までの420mで、平成21年5月に供用が開始された第1期区間520mと合わせて開通式が行われました。上長尾バイパスは片側1車線、車道幅6mで、西側に歩道も設けられ、駐在所前の信号機が押しボタン式から通常の信号機に切り替わり、同日午後4時に供用開始されました。

式典には鈴木町長をはじめ、国・県・町関係者や地元住民ら約180人が出席しました。テープカットとくす玉割りに続き、赤石太鼓保存会による祝い太鼓に合わせ、桜・三ツ星保育園の園児が元気よく通り初めのパレードを行いました。鈴木町長は「安心・安全な生活に欠くことのできない道路として、引き続き、早期の全区間開通を目指してまいります」と式辞を述べました。



1



2

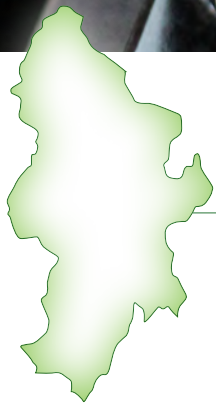


3

1. 通り初めに喜ぶ園児
2. 地域の皆さんも開通式に駆け付けた
3. 園児らとの交流も楽しんだ



五感を研ぎ澄ませて審査する鈴木審査長



# 町茶品評会



手摘みの部「優等」につちや農園・土屋鉄郎さんが、機械摘みの部「優等」に2年連続で田野口第一製茶組合が輝いた。

良質で調和がとれた川根茶がそろそろ

「全国茶品評会クラスの川根茶らしい良質な茶がそろった」と鈴木康孝審査長が評価した本年度の町茶品評会。

今年の一番茶の出来栄えを審査する町茶品評会が7月10日、町農林業センターで開催されました。審査は、県志太榛原農林事務所の鈴木康孝茶業農産課長を審査長とする審査員4人が、全国茶品評会審査基準に準じて厳正に行いました。審査順序と点数配分は外観20点、香氣75点、水色30点、滋味75点の順序で計200点で競いました。



今年は、手摘みの部に12点、機械摘みの部に5点の出品がありました。審査終了後、「山のお茶である川根茶らしい良品がそろっており、今後も良質な川根茶の生産に取り組み農家等が増えることを期待する」と全体を通した講評がありました。

## 【町茶品評会審査結果表】

手摘みの部	
結果	出品者
優等	つちや農園 土屋 鉄郎
1等	ティーサークル徳山 代表 中野利広
1等	川崎 好和
2等	大村 雄一郎
3等	相藤農園 相藤 直紀
機械摘みの部	
結果	出品者
優等	田野口第一製茶組合 組合長 田畑義次
1等	川根本町茶業振興協議会 会長 鈴木敏夫

【問】産業課・農業室 ☎(56)2226